

3年生 国画工作科

「わくわく！市場・岩屋のたからばこ」★



新しい年が始まってから、あっという間に2月を迎えました。
学校では1年間の学びを振り返りながら、次の学びへつなげる準備が進んでいます。そんな中、今回のCanvasにのせてお届けするのは、今年度最後となる授業研究会として、3年生で行った「わくわく！市場・岩屋のたからばこ」の学習の様子です。

3年生では、年間を通して総合的な学習の時間に、地域の魅力を探る学習に取り組んできました。実際に現地へ行き、見たり聞いたり感じたりしてきたことを新聞や学習発表会で発信してきましたが、今回は、その学習を「国画工作科」と関連付け、これまで自分が学び、感じてきた市場や岩屋のよさを、「たからばこ」にぎゅっと詰めて表現していきます。

「早く作りたい！」そんな子どもたちの声から始まったこの学習。これまでの総合的な学習の時間の中で、地域の良さに触れ、感じてきたからこそ溢れてくる思いです。

たくさんの材料の中から、「この形、ミラーボールに使えそう！」「このプチプチ、蜂の巣に蜜が入ってるみたいに色をぬってみよう！」と、その「形」「質感」「大きさ」などを意識しながら、自分の表現したいものに合ったものを選び、組み合わせる子どもたち。「千原ダンススタジオはとっても楽しい場所。だから明るい色にしたくて、箱の色をピンクにした！」「より新鮮でおいしいような魚をあらわすために、1色じゃなくて、2色を組み合わせた。」と、「色」を表したいイメージとつなげて考える姿もありました。子どもたちの中に、造形的な見方・考え方が育まれてきていることを感じます。



教科を超えて、学びをつなげていくこと。そのことが、相互の学びをより深いものにします。今後も学校として大切に、工夫を重ねていきたい視点です。

また、難しい形に挑戦したり、なかなか思うようにいかない部分を試行錯誤したりしながら、粘り強く取り組む姿も見られました。「どうしたらできるかな？」と、自分で問題を見つけ、解決しようとする姿勢は、とてもたくましいものです。そして、悩んだり困ったりした時には、すぐに相談し合える子ども同士のつながり。「それならこっちの方がいいんじゃない？」「こんなアイデアもあるよ。」と一緒に考え、新たなものを生み出していく姿を嬉しく思います。

最後に作品を見直す時間。思いを込めて作った作品に愛着いっぱい。自分の作品を友達に紹介し、互いに「いいね。」「ここが素敵だね。」と言いつつ場面もあり、子どもたちの表情は本当に誇らしげです。こうしたやり取りは自己肯定感を育て、自分の思いを言葉で表す力を伸ばす大切な時間となっています。



友達からの「それいいね！」という一言に、〇〇をイメージして、こうしようと思って…と、自分のしたいことを言語化する姿。安心して自分の思いを表現できるあたたかな関係。



つくりたいもののイメージを、会話しながら広げていきます。一緒に考えるからこそ、新しい発想がどんどんあふれてくる！



やりたいことを実現するために、グルーガンを接着の道具ではなく、1つの素材として使うという発想が生まれました。色々な材料を自由に使える環境が、想像を豊かにします。「環境づくり」も大切にしている視点です。

子どもたちは、この1年間を通して、作ることの楽しさを感じるだけでなく、自分の考えを深める力、友達とつながりながら学ぶ力、挑戦し続ける粘り強さなど、多くの力を伸ばしてきています。これからも、子どもたち一人一人の思いやアイデアが輝くよう、「やってみよう」「もっと工夫したい」という気持ちを大切に、共に学びをうみ出していききたいと思います。